

国際交流 NEWS

Vol.10.2023

行きました！

国際交流 NEWS 第 10 号

- 1 2022 年度 個人留学と海外研修
- 2 2022 年度 国内研修、受入れプログラム
- 3 Online 交流 グローバルカフェ特別編

夢だった個人留学の実現、待っていた大学プログラムの再開、初めての国内宿泊国際交流研修、Online 交流での驚き。2022 年度も多くの学生が異文化体験をしました。そんな学生たちの生の声をお届けします。

フィジー 春休みの 1 か月間、フィジーに個人留学してきました。

国際交流センターの方の協力をいただき、ぐんま赤尾奨学財団から奨学金を得て、コロナ前からの夢が実現できました。毎日午後 2 時頃まで語学学校に通い、放課後にボランティア予定していました。実際に行ってみると、計画していたボランティアは実施されておらず、悔しく思いましたが、そこで諦めず、今自分ができることを探した結果、現地の方を交えたゴミ拾いボランティアができました。日本であれば予定通りに物事が進みますが、海外ではそれがあたり前ではないことを改めて感じました。フィジーという土地で異文化を学びつつ、語学学校の友人や現地の中国人の友人とビーチで楽しんだり、カヴァというお酒を飲んだりして放課後を過ごしました。実際に行かなければ、身にしみてわからないような貴重な経験ができたことが私にとって一番の収穫でした。薬学科 4 年 学生



ボランティア活動



歓迎時に飲ませてくれる伝統的なカヴァ

発行：国際交流センター 【Center of International Affairs】 2023. 6. 19
9 号館 1F tel/fax : 027-352-7006 e-mail : uhw-kokusai@takasaki-u. ac. jp

行きました！

タイ 2023年3月18日～26日に看護学生9名と教員2名で国際研修としてタイに行ってきました。



現地では学術協定提携先であるタマサート大学で現地の学生と一緒に講義を受けたり、大学病院・関連施設の視察、民族衣装を着るといった異文化体験を行ったりしました。私が最も印象深かったことは、タイで出来た友人が「今日は夜勤実習があるの。」と話していたことです。日本と異なりタイでは実習がシフト制であることに非常に驚きました。

今回の研修を通してタイの文化を肌身で感じ、固定概念に捉われないことの大切さに気づきました。研修に行く前は英語が通じるのかといった不安がありましたが、その不安をかき消すぐらい充実した8日間を過ごすことが出来ました。引率して下さった先生をはじめ、多くの支援があったことを忘れずに学んだことを今後の学生生活に活かしたいです。 看護学科2年 学生



国際交流研修 in 駒ヶ根

2022年の夏休み、長野県駒ヶ根市へ3泊4日の国際交流研修に行ってきました。まず、JICA 訓練所施設内を見学し、その後ワークショップでは、各人が3つの異なる国民になって自分の立場で主張しあう体験をし、異文化交流の難しさを学んだことが印象深かったです。青年海外協力隊の体験ということで、開発途上国の問題の中から取り組みたいものを選び、解決案を発表して協力隊の「活動」について考えました。翌日、3班に分かれて実際に駒ヶ根市内を探索し、「駒ヶ根に人を呼ぶためには？」をテーマにフィールドワークしました。国際理解の他に、色々な交流ができました。彩り豊かな郷



土料理を食べながら祖母と同年代の方と談話し、長野県立看護大学の方とはBBQを楽しみました！さらには、駒ヶ岳ロープウェイに乗り美しい山岳や富士山も見ることができました！この活動で人脈や興味が広がりました。



子ども教育学科2年 学生

来ました！

ドイツ、フィンランドより学生受入れ

春休みに、1週間ほどドイツとフィンランドから留学生が来ました！私を含めた10人程度が彼らの食事、買い物などのサポートや、観光案内をしました。お互いに、英語が母国語ではないので試行錯誤のコミュニケーションで、始めは彼らも文化や環境の違いに戸惑っていましたが一緒に授業やワークショップを行うにつれ打ち解け、帰る頃には



冗談を言い合えるほどの友達になることができました。中でも一番

の思い出は一緒にカラオケに行きそれぞれの国の歌を歌ってみんなで盛り上がったことです。音楽や食事を共にすることは国境を超えての楽しい国際交流だと感じました。また彼らとの時間が楽しかった半面、帰ってしまった後はとても寂しかったです。いつかドイツやフィンランドへ赴き再会することを楽しみにして、これからの大学生活を頑張っていこうと思います。 薬学科4年 学生



タイより学生受入

コロナ禍以降、初めてタイから看護学生が5人来ました！私はタイでタイ語の語学留学をしたことがあり、今回タイ人学生との交流を心待ちにしていました。放課後に食事や買い物に行き、お好み焼きの作り方を説明したり、お寿司屋さんで食べたことのないお寿司のネタを一緒に食べたりと楽しいひと時を過ごしました。



英語やお互い覚えたタイ語、日本語を交えての会話でしたが、言いたいことが

伝わらない場面では、ジェスチャーや翻訳アプリを用い、言いたいことを100%言葉にできなくても言語以外の方法でコミュニケーションを取ることができる、伝えたいと思う気持ちが大切なのだと改めて感じました。今回の国際交流をきっかけに学生達とは今でもSNSで交流を続けています。実は彼女らが帰国した後、春休みにタイへ旅行し、再会してきました。コロナが落ち着いて、今後ますます国際交流ができると良いなと思います。



薬学科6年 学生

ドイツより学生受入れ

2023年2月20日から2月28日の9日間、ドイツのFresenius大学 理学療法専攻の11名が本学科に研修で訪れました。本研修では、医療や理学療法に関する研修に加え、互いの国民性や文化的背景の理解を深めあうことで、国際的な視点を持つことを目的としています。研修では本学のキャ





ンパスツアーや日本の病院見学、両大学の研究発表や、学生同士でレクリエーション、日本の文化体験を行いました。交流の中で衝撃的だったことは、アニメの影響で日本の歌と一緒に歌えたことでした。お互いに母国語ではない英語でコミュニケーションをとっていました。そのため、難しいと感じることもありました。表情やボディランゲージなどで伝えられることも多く、英語が苦手でもコミュニケーションは取れて仲良くなれることを実感しました。

理学療法学科3年 学生

Online 交流しました！

クロアチア Online クロアチア交流では ZOOM を用い

てクロアチア人の方とお話をしました。日本にはあまり情報が入ってこないクロアチアのことをたくさん聞くことが出来、文化や地理、歴史について学習したうえでさまざまな質問を投げかけました。日本とはるかに違う文化と風土を持つクロアチア人の方との交流は自分自身を見つめなおす良い機会となりました。私が好きな話はクロアチアのアニメ事情です。私たちの見るアニメには日本語が音声や字幕として載っていますが、クロアチア語はそうそうありません。それゆえに自分で日本語や英語を学んで翻訳するそうです。しかしそういった活動が自身の第二言語の発展につながると思うと、自分も真似してみたくなりました。



生物生産学科2年 学生

グローバルカフェ特別編

私は二つのイベントに参加しました。一つ目のイギリス人アーティスト Kevin 先生による「写真コラージュ」では、Kevin 先生の英語の掛け声に合わせて、台紙を回してお気に入りの切り抜きを貼り付けるリレー式のコラージュ。参加者約30人で仕上げたコラージュは、愛おしさ満載の作品となりました♪

二つ目の「ウクライナから避難された方との交流」では、ウクライナの文化や歴史などのお話だけでなく、見事なサクソ演奏つき。交流の合間に話してくれた話では、英語の聞き取りに苦労したものの、言葉のトーンや雰囲気、表情等で、どんなに怖い思いをしてきたのか等、私にとっては、大変戒めとなる貴重な時間となりました。いかに私が狭い世界で生活しているのか、実際に触れて体験することの大切さを痛感致しました。と同時にやっぱり英語を学ぶことにも注力しよう、小さく心に誓いました。



キャリアサポートセンター スタッフ